

平成28年度 庄原市学校図書館研修会

- 日 時：平成28年5月10日（火） 14：00～16：35
- 場 所：庄原市田園文化センター
- 対象者：庄原市内各小・中学校の図書館担当者26名，学校司書10名

目 的

児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を推進する学校図書館づくりについて研修することを通して、学校図書館担当者と学校司書が連携し、図書館の活用と児童生徒の読書活動の充実を図る。

実践報告 「子供の読書活動推進のために」 庄原市立美古登小学校 才木 環 教諭 小田 沙織 学校司書



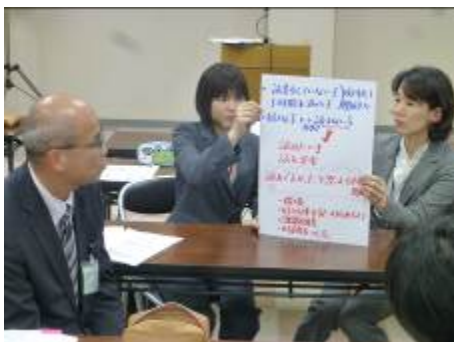
【実践発表の概要】

- 学校図書館には、読書センターとしての役割と学習・情報センターとしての役割が必要である。この役割を機能化するために、美古登小では、2つの図書室を設置し、読書環境の充実を図っている。
- 児童の読書意欲喚起のため、次のような取組を行っている。
 - ・地域ボランティアとの連携
 - ・教職員、委員会児童による読み聞かせ
 - ・読書活動を取り入れた学校行事の実施
 - ・おすすめ本のリーフレット作成・配付
- 学校司書が、並行読書に必要な本の収集、掲示物の作成等を行い、担任と連携した授業づくりを行っている。

【参加者の声】

- ・学校の状況に応じて、先生方と相談をしながら、授業づくりを進めていくことができたらいと思う。(学校司書)
- ・保護者の方を巻き込んで、読書活動を推進していく必要性を再確認した。(学校図書館担当者)

グループ別協議 「学校司書と連携を図った読書活動の推進」 庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【グループ別協議の概要】

- 平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査によると、本市における1週間の家庭での不読率は小学校10.2%，中学校33.9%であった。この状況を改善するために、学校図書館担当、学校司書として、それぞれの立場で何ができるかについて方策を出し合った。
 - ・子供たちに読んでほしい本を誕生日にプレゼント
 - ・保護者おすすめの本コーナーを設置 等